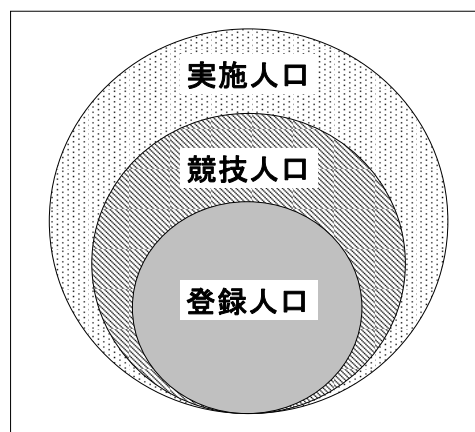


### Ⅲ. 調査結果

#### 1. 競技人口と登録制度に関する調査

スポーツの種目ごとの普及状況を示す概念として「競技人口」がある。しかし、その定義は必ずしも明確ではない。実際に把握ないし推計されているのは、登録人口（登録競技者数）と実施人口である。登録競技者数は、文字どおり各競技団体に登録されている競技者の数であるが、市民スポーツイベントとして行われる各競技の大会など、競技団体が参加者の氏名やその数を把握できていないケースも少なくない。これとは別に、たとえば笹川スポーツ財団「スポーツライフに関する調査」のスポーツ実施率に人口を乗じて「スポーツ実施人口」を推計することができるが、この中には、競技者ではない人、たまにそのスポーツを楽しむ人も含まれている。これら「登録人口」「競技人口」「実施人口」の関係を示せば図1のようになる。以下では中央競技団体の回答をもとに、主に登録人口と制度についてみていく。

図1 登録人口、競技人口、実施人口の関係



#### 1-1 登録制度の有無

競技者の登録制度については、回答を得た77団体のうち、登録制度が「ある」団体は68団体（88.3%）であった（表2）。このうち、個人の登録制度のみある団体が33団体（42.9%）、個人・チームともに登録制度がある団体が35団体（45.5%）であった。登録制度がない団体は9団体（11.7%）であった。

表2 中央競技団体の登録制度（n=77）

登録種別	団体数	%
個人の登録制度のみあり	33	42.9
チームの登録制度のみあり	0	0.0
個人・チームともに登録制度あり	35	45.5
登録制度なし	9	11.7

## 1-2 登録競技者数

表 3 に中央競技団体の登録競技者数（またはチーム数）を示した。個人登録者数についてみると、最も多いのは剣道の 202 万 2,939 人で、以下、サッカー（86 万 898 人）、軟式野球（72 万 7,858 人）、バスケットボール（55 万 1,720 人）、バレーボール（40 万 301 人）、陸上競技（39 万 9,826 人）の順となっている。登録チーム数についてみると、最も多いのは、軟式野球（3 万 9,313 チーム）で、以下、バスケットボール（3 万 1,953 チーム）、サッカー（2 万 8,735 チーム）、バレーボール（2 万 2,706 チーム）、陸上競技（1 万 6,085 チーム）の順となっている。登録競技者数と登録チーム数がともに集計されている軟式野球では、1 チームあたりの平均登録者数が 18.5 人、バスケットボールでは 17.2 人、サッカーでは 30.0 人、バレーボールでは 17.6 人と、一般的に試合に必要な人数（9 人、5 人、11 人、6 人）の 2～3 倍程度であった。登録者数を性別にみると、多くの種目で男性が女性を上回っているが、エアロビック、スケート、体操、ダンススポーツ、チアリーディング、馬術、バレーボール、武術太極拳では女性の登録者・チームのほうが多い。

表 3 中央競技団体の登録競技者数および登録チーム数（n=93）

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(公社)全日本アーチェリー連盟	11,113	7,358	3,755
(一社)日本アームレスリング連盟	1,045 [70]	1,015	30
(公財)合気会	*	*	*
(公財)日本アイスホッケー連盟	16,219 [754]	14,938 [685]	1,281 [69]
(公社)日本アメリカンフットボール協会	13,809 [427]	—	—
(公社)日本ウエイトリフティング協会	3,971	3,214	757
(公社)日本エアロビック連盟	1,300 [30]	195	1,105
日本オーケーゴルフ協会	*	*	*
(公社)日本オリエンテーリング協会	2,205	1,636	569
(公社)日本カーリング協会	2,383	1,574	809
(公社)日本カヌー連盟	5,852	3,764	2,088
(一社)日本カバディ協会	319	273	46

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(公財)全日本空手道連盟	*	*	*
日本キャスティング協会	10 [4]	9 [4]	1
(公財)全日本弓道連盟	×	×	×
(公社)日本近代五種協会	87 [7]	49 [3]	38 [4]
(一社)全日本空道連盟	5	5	—
(公社)日本グラウンド・ゴルフ協会	131,846 [3,477]	79,839	52,001
(一社)日本クリケット協会	×	×	×
(一社)日本車いすラグビー連盟	95 [9 <sup>*1</sup> ]	91	4
(一社)日本クレール射撃協会	2,126	1,989	137
(公財)日本ゲートボール連合	*	*	*
(一社)日本健康麻将協会	×	×	×
(一財)全日本剣道連盟	2,022,939	1,416,524	606,415
(一社)日本拳法競技連盟	×	×	×
(一財)日本航空協会	*	*	*
(公財)日本ゴルフ協会	*	*	*
(一社)日本サーフィン連盟	10,368 [897]	8,847	1,521
(公財)日本サッカー協会	860,898 [28,735]	832,893 [27,414]	28,005 [1,321]
(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会	28,434 [776]	21,050	7,384
(公財)日本自転車競技連盟	7,318	6,681	637
(公社)全日本銃剣道連盟	14,150	—	—
(一社)全日本柔術連盟	×	×	×
(公財)全日本柔道連盟	122,184 [7,671]	97,699	24,485
(一財)少林寺拳法連盟	1,499	918	581
(公財)日本水泳連盟	174,410 [5,561]	102,386	72,024
(特非)日本水上スキー・ウエイクボード連盟	×	×	×

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(一社)日本水中スポーツ連盟	1,600 [75]	830	770
(公社)日本スカッシュ協会	1,200	—	—
(公財)全日本スキー連盟	×	×	×
(公財)日本スケート連盟	7,234	2,194	5,040
(公社)日本スポーツチャンバラ協会	×	×	×
国際スポーツチャンバラ協会	×	×	×
(一社)日本スポーツウェルネス吹矢協会	×	×	×
(公財)日本相撲連盟	3,322	3,092	230
(公財)日本セーリング連盟	8,951	7,288	1,663
(一社)日本セパタクロー協会	622 [46]	446 [33]	176 [13]
(公財)日本ソフトテニス連盟	374,313 [14,225]	—	—
(公財)日本ソフトボール協会	153,254 [7,976]	91,225 [4,508]	62,029 [3,468]
(公社)日本ダーツ協会	—	—	—
(公財)日本体操協会	25,950 [3,044 <sup>※2</sup> ]	7,651 [308]	18,299 [1,431]
(公財)日本卓球協会	297,131	189,129	108,002
(公社)日本ダンススポーツ連盟	20,953	9,410	11,543
(公社)日本チアリーディング協会	9,500 [430]	500	9,000
(公社)日本綱引連盟	×	×	×
(一社)全日本テコンドー協会	1,763	1,212	551
(公財)日本テニス協会	65,830	41,324	24,506
(一財)日本ドッジボール協会	2,108 [604]	1,487 [554]	621 [50]
(公社)日本トライアスロン連合	35,000 [300]	28,000	7,000
(一社)日本ドラゴンボート協会	×	×	×
(公財)全日本なぎなた連盟	*	*	*
(公財)全日本軟式野球連盟	727,858 [39,313]	709,965	17,893

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(一社)日本バイアスロン連盟	292	283	9
(一財)日本バウンドテニス協会	*	*	*
(公社)日本馬術連盟	5,241 [660]	2,547	2,694
(公財)日本バスケットボール協会	551,720 [31,953]	321,137 [16,781]	230,583 [15,172]
(公財)日本バドミントン協会	×	×	×
(公財)日本バレーボール協会	400,301 [22,706 <sup>※3</sup> ]	156,376 [7,257]	243,925 [14,084]
(公社)日本パワーリフティング協会	3,365 [322]	2,902	463
(公財)日本ハンドボール協会	117,945 [5,523]	76,370 [3,376]	41,575 [2,147]
(公社)日本ビリヤード協会	5,000	4,500	500
(公社)日本フェンシング協会	6,137	3,846	2,291
(公社)日本武術太極拳連盟	63,719	27,749	35,970
(一社)日本フライングディスク協会	4,513 [256]	3,006	1,507
(一社)日本フロアボール連盟	1,897	1,172	725
(公社)日本ペタンク・ブール協会	4,612	3,081	1,531
(公財)全日本ボウリング協会	10,283 [215]	7,928	2,355
(公社)日本ボート協会	8,172 [504]	5,391	2,781
(一社)日本ボクシング連盟	5,577	—	—
(公社)日本ホッケー協会	10,272 [591]	6,251 [335]	4,021 [256]
(公社)日本ボディビル・フィットネス連盟	5,703	4,919	784
(公社)日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟	72	55	17
日本マウンテンバイク協会	×	×	×
(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会	×	×	×
(公財)日本野球連盟	11,403 [371]	11,111 [371]	292 [0]
(一財)全日本野球協会	*	*	*

団体名	登録者数(人) [チーム数]		
	全体	男	女
(特非)日本ライフセービング協会	1,687 [165]	1,048	639
(公社)日本ライフル射撃協会	7,000	—	—
(公財)日本ラグビーフットボール協会	91,896 [2,719]	86,717	5,179
(一社)日本ラクロス協会	×	×	×
(公財)日本陸上競技連盟	399,826 [16,085]	263,571	136,255
(公財)日本レスリング協会	10,387	8,402	1,985
(一社)ワールドスケートジャパン	569	371	197

\* : 登録制度なしと回答

— : 回答なし

× : 未回収

※1 男女混合競技

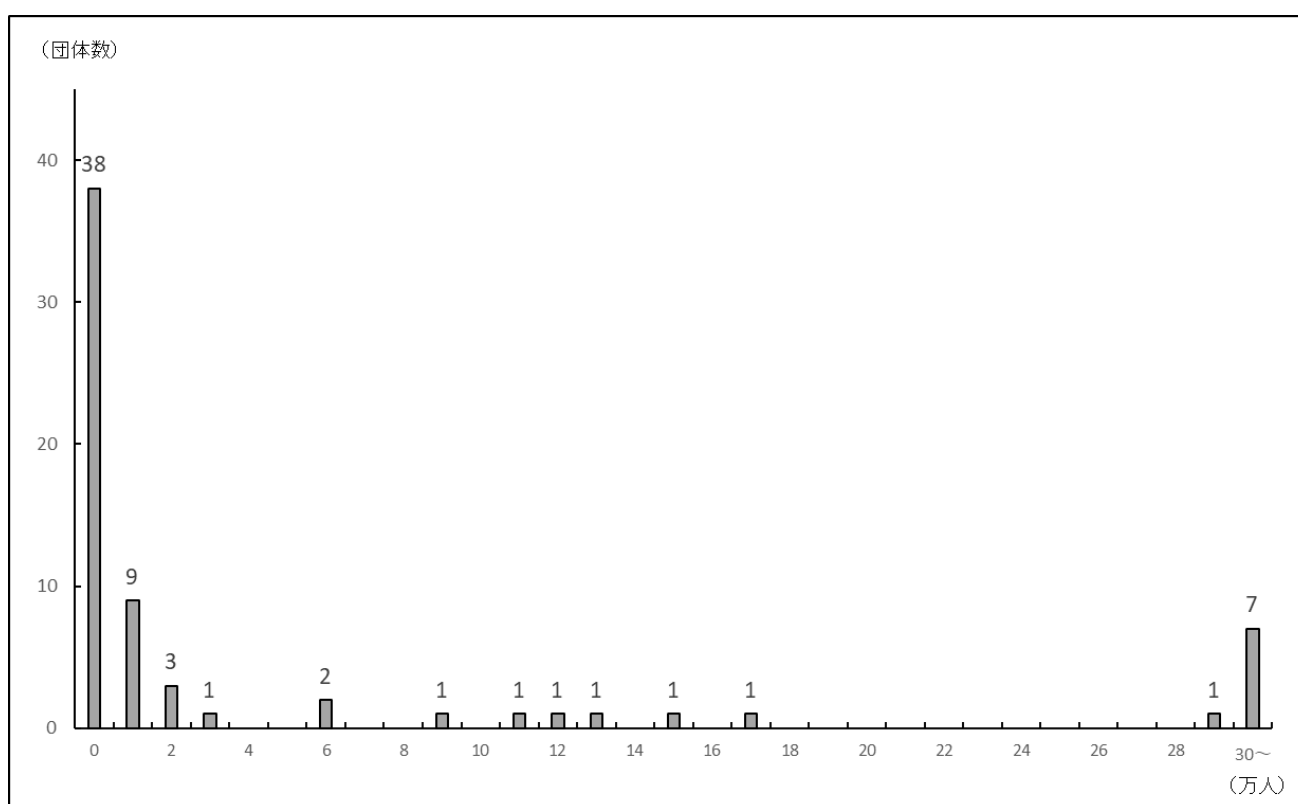
※2 男女混合 1,305チームを含む

※3 男女混合 735チームを含む

### 1-3 登録競技者数の分布

個人登録競技者数の分布をみると、平均は1団体あたり10万2,986人であるが、最小5人から最大約202万人までとかなり大きな差があった(図2)。中央値は7,234人、第1四分位は2,003人、第3四分位は3万1,717人であった。また1万人単位での最頻値は1万人未満(38団体)であり、本調査で登録競技者数の回答が得られた67団体の約半数を占めた。さらにそのうち、1,000人未満が8団体、1,000人以上5,000人未満が18団体と、登録競技者数が5,000人に満たない規模の団体(26団体)が全体の4割を占めている。

図2 中央競技団体の登録競技者数の分布



注) 登録競技者数は万人単位。したがって、「0」は9,999人以下を示す。